

平成27年深谷市教育委員会第6回定例会会議録

深谷市教育委員会

平成27年深谷市教育委員会第6回定例会

日 時 平成27年6月9日(火)
開 会 午後2時40分
閉 会 午後3時30分

場 所 深谷市立教育研究所 3階 セミナールーム

出席委員 教 育 長 小 柳 光 春
教育長職務代理者 柿 沼 敬 一
委 員 井 上 美佐子
委 員 清 水 巖
委 員 橋 本 幾 子

出席職員 教 育 部 長 澤 出 晃 越
次 長 植 竹 敏 夫
次 長 片 桐 雅 之
教育総務課長 葦 塚 洋 明
教育施設課長 吉 田 稔
学校教育課長 島 崎 祐 子
生涯学習スポーツ 岡 田 真
振興課長
文化振興課長 鳥 羽 政 之
渋沢栄一記念館長 坂 倉 茂
図書館長 島 田 久 一

書 記 教 育 総 務 課 加 藤 昇
課 長 補 佐

1 開会

教育長が開会を宣告

2 前回議事録の承認

第5回定例会の会議録を全員異議なく承認

3 会議録署名委員の指名

教育長が橋本委員を指名

4 会議の概要

(1) 会議

- ① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教育総務課長より説明
- ② 報告2 小・中学校及び幼稚園における放射線量測定結果について
教育施設課長より説明
- ③ 報告3 子育てひろばについて
学校教育課長より説明
- ④ 報告4 「安心ふっかネット」意識調査の結果について
学校教育課長より説明
- ⑤ 報告5 平成27年3月深谷市内の中学校卒業者の進路状況について
学校教育課長より説明
- ⑥ 報告6 深谷市立中学校英語学力調査の実施について
学校教育課長より説明
- ⑦ 報告7 専決処理の報告について
生涯学習スポーツ振興課長より説明
- ⑧ 報告8 企画展「このひとをしっていますか？」について
文化振興課長より説明
- ⑨ 報告9 深谷市の史跡特別公開について
文化振興課長より説明
- ⑩ 報告10 平成27年5月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
片桐次長より説明
- ⑪ 議案第33号 深谷市社会教育委員の委嘱について【非公開】
生涯学習スポーツ振興課長より説明
- ⑫ 議案第34号 深谷市図書館協議会委員の任命について【非公開】
図書館長より説明

発言の要旨

① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教 育 長 事務局より説明を求めます。
教育総務課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

② 報告2 小・中学校及び幼稚園における放射線量測定結果について
教 育 長 事務局より説明を求めます。
教育施設課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

③ 報告3 子育てひろばについて
教 育 長 事務局より説明を求めます。
学校教育課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
橋 本 委 員 10ページの課題のところですが、「園独自の「子育てひろば」ができればもっと効果的ではないか。」と書かれています。が、具体的にはどのようなことを考えていらっしゃるかということが1点です。

あと、年々、参加者が増えているかと思えます。園が減っているにもかかわらず参加者が増えていて、募集人数の15組程度というのを大幅にオーバーしている園もありますが、人員の確保や、ボランティアさんの確保についてはどのように考えていらっしゃいますか。

学校教育課長 参加者の人数につきましては、昨年よりも若干増えています。また、ボランティアの方の人数については若干減りつつあります。ただ、地域の幼稚園でありますので、小・中学校の学校応援団のように地域の協力者について人材バンクのようにしていけたら良いなと思っています。民生委員さんやボランティア団体を通じてネットワークを広げて行きたいと思っています。

また、2歳からだけではなく0歳も含めた子育てひろばを視野に入れつつ、各園ごとに実施した方がより地域に密着した充実した内容になると思っています。

橋 本 委 員 私も携わっているので、中身が良いことも、評判が良いことも分かっている質問させていただいています。ただ、充実させるために回数を増やしたりすることを考えていらっしゃるのであれば、園の職員の負担は増えると思います。やはり、幼稚園児のための遊具を2歳児が使うわけですから、徹底的に大人が

配慮していないと事故が起こりうるのではないかと思うことがあります。危ない光景も見受けられることがありますので、人員確保のことが気になりました。

教 育 長 委員さんがおっしゃるのは、園が単独で実施すると、手厚く見られないということが危惧されるということでしょうか。

橋 本 委 員 大人の数が減らなければ大丈夫だと思います。子どもの数がどんどん増えていて、それに対してスタッフの数が減っているから事故が起きてしまうのではないかなと思います。

学校教育課長 担当の方も、せっかくの事業も目が届かずに事故が起きてしまっは大変なので、そうすると人手を増やすということになりますが、ボランティアだけでまかなえればよいですが、現実的には難しい面がありますので、悩んでいると聞いています。

橋 本 委 員 良い解決策が出ることをご期待申し上げます。

片 桐 次 長 この課題の「園独自」というのは、各園で大体年間3回位行っているなかで、うちの幼稚園はもっと多くやりたいという希望がでるところがあります。そこで、地域の方と話し合いながら、この子育てひろばを膨らませて、より充実したニーズにあったものやっていくということも考えられるかな、という意味の課題です。この辺りは、すすすすさんなど様々な方に携わっていただいていますし、幼稚園だけで決めるものではないので、一緒に詰めながら、やっていきたいと思います。

教 育 長 持ち帰って少し検討して、来年度に向けてお願いします。

④ 報告4 「安心ふっかネット」意識調査の結果について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

井 上 委 員 フィルタリングについては、今の課長さんの説明のとおりだと思います。ぜひフィルタリングどういうものなのかということ発信しなければならないかなと思います。

それから、まったく守っていない小・中学校の児童生徒の家庭についてどう対応していくかということですが、これを立ち上げるときに校長会、生徒会、PTA 連合会などで話し合っているとありますが、その場に一度結果を戻して、対処について検討していくことは考えていますか。

学校教育課長 いじめの問題協ですとか、生徒指導の主任会ですとか、校長会ですとか、小委員会とか専門委員会とかに、これらの結果をお示しして、話し合っただき、今後の取組や目標数値も決めいき、それを各学校で取り組んで行きたいと考えています。

片 桐 次 長 いま課長が申したとおり、今年度も PTA の会合がありますので、そこで現状を見ていただいて PTA の方にも考えていただ

きたいと思います。また、これは教育長の決裁前ですが、今回のところざしでは、学校別ではなく全体のアンケート結果を出して、市民の皆様にも明らかにして、家庭、地域社会の皆様と一緒に考えていくというふうにして行きたいと思います。ネットは喫緊の課題ですので、あらゆる手段を使ってこれを周知徹底し、高めて行きたいと思います。

井上委員 16ページに学校別の結果がありますよね。確かに、これを出すことによって色々な波紋が起きるかもしれませんが、学校差がかなり出ていますよね。その現状を知らせることも、意味があるかと思っています。出すか出さないかということですが、例えば、学校名を伏せて順番もバラバラにして、こういった結果が出ているということは、出してもよいかと思います。

教育長 明日、校長会がありますけれど、この点についてはどうですか。

学校教育課長 明日の校長会で、この学校名を消して、ただ自分の学校名だけ示して、全体のなかでどこにあるのかわかるように示していきます。また、学校訪問の際に、具体的にこのことについて指導しています。

教育長 それでは、お待たせしました、橋本委員どうぞ。

橋本委員 そもそもの疑問ですが、この「安心ふっかネット」の小学生は夜7時まで、中学生は夜9時までというのは、何か意図があるのですか。9時以降に使っている子ども達がどういう内容で使っているのか、また、いじめに発展するような使い方が7時以降、9時以降に起きているなどのデータがあるのでしょうか。その辺が疑問に思いました。

それから、中学生3年生になるほど守らないというのは、多分、塾帰りだったり、部活動から解放されてほっとする時間がこの時間以降ではないかなと推察します。子ども達にしてみれば息抜きの一つとして使っていると思います。子ども目線で見るときに、子どもがどのように考えてネットを利用しているのか、また、現状どのような使い方をしているか、生活にどの程度支障をきたしているのかという内容をリサーチしていただきたいなと思いました。

教育長 いま沢山御質問等ありました。どうして7時、9時を決めたのか、その経緯が1つ。実際問題として、実態はどうか。3つめは、子どもがスマホで息抜きできるということも考えるかどうか、生活に支障がでているのか、トラブルがあるのか。分かる範囲で結構です。

片桐次長 まず7時、9時の経緯ですが、「安心ふっかネット」を作るにあたっては、各学級のなかでネットについて話し合ったものを各学校の生徒会が持ち上げて来たものです。ですから、この7時、9時は子ども達自身が作ったものなのです。色々な意見

があったと思いますが、全ての子ども達が関わって作ったものです。7時、9時が原則なので、塾で使うとか、そういったことは親の了解を得て使っていることなので、それは致し方ないです。ただ、そういう面を除いて、多くの子ども達の中で、もちろん便利だけど、夜使っていて、LINE等で返信しなければならないことが負担になっていることが非常に多くなっていました。携帯中毒のようになってしまって、自分で止めたいけど止められないといったこともあり、「ルールを決めてもらったほうが、ルールだからと友達に言える」という意見もかなりあり、子ども達のなかから7時、9時のルールが持ち上がってきました。

そして生徒の代表が集まって生徒協議会をして、深谷市全体でどうですか、各校の意見はどうでしたかと協議するなかで、厳しすぎると思いましたが、子ども達のなかで7時、9時のルールでいきたいと思いますとなりました。塾とかあるという質問も出ましたが、原則、7時、9時というのが子ども達の結論でした。それをPTAにも返して、PTAもそれでいこうということになりました。

7時、9時で使っている子ども達のなかで、具体的な事件や巻き込まれなどがあるのかということですが、特に7時以降、9時以降に使っているから事件が多くなるというわけではありませんが、頻繁に使っていると、どうしてもそういったサイトにアクセスする機会が多くなるということも確かです。未然防止を考えると、自分たちである程度の区切りをつけるというのが一番いい方法だろうということで、この方法を採用させていただいています。長く話してしまいましたが、以上です。

橋本委員
井上委員

大変よく分かりました。ありがとうございました。

この間教育新聞を見ていたのですが、やはり早寝、早起き、スマホから離れた児童生徒のほうが、全部の学力が良かったです。ですから、こういったところから、どのように約束を守らせていくのかということを徹底させていかないと、学力面、生活面、不登校の問題、学力に対する気力の問題などが回復しないと思いますので、ぜひ校長会、保護者会、生徒会などで、さらにどうしたらよいかということを検討していただきたいと思います。まあ、これは日本全国、世界中の課題になりつつあると思います。

教 育 長

やはり時々、スマホがらみでちょっとした小さなトラブルが起きています。学校も教育委員会もその対応でなかなか難しいときもあります。そうしたことを踏まえて、先週、先ほど課長も申しましたが、深谷市いじめ問題対策連絡協議会、条例で立ち上げた会議ですけれども、そこでデータも踏まえてこの問題をもう一度徹底していくように確認しました。色々な機関が

入っていますので、多角的に対応して行こうということになりました。これについてはしっかりやっていくということでお願いします。

⑤ 報告5 平成27年3月深谷市内の中学校卒業者の進路状況について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

井 上 委 員 20ページの進路状況の一番下の「家事手伝い3名」については、学力の問題で家事手伝いになっているのか、心理的な面で家事手伝いになっているのか、分かりますか。把握している範囲で結構ですので教えてください。

教 育 長 この家事手伝いの3名は、学力に課題があるのか、その他の課題があるのか。もし情報を持っていたらお願いします。

学校教育課長 3名全員ではなく、私が確認している1名は、学力というよりも、精神的な障害や疾病で通院していて、学校に通えないと聞いています。

教 育 長 私から、不登校というわけではございませんが、18ページの家事手伝い等5名に入ってくると思いますが、なかには、親の方で、高校に行かず、すぐにではないがそのうち働かせる、そういう子もいたことを確認しています。

橋 本 委 員 家事手伝い又は無業者の5名のなかですけれども、卒業してしまっただけからは教育委員会としてどのようにかかわるのか教えてください。他職種にどのように繋いでいくのか、どなたがこの子供を導いていけるのか教えてください。

教 育 長 卒業した後の子供も達がどういう形で社会と関わり合いを持っていくのか、その際に教育委員会はどのようなかということですが、島崎学校教育課長お願いします。

学校教育課長 卒業しましても元担任にとっては大事な生徒ですので、その後も連絡を取りあっているという例もあります。また、教育研究所は15歳で相談は終了になりますが、県のサポートステーションというひきこもり対策の所がありますので、そちらに事例を持ち込んで相談を継続していただいたり、深谷メンタルとか病院を経由して、状況については聞き取って、その後も相談があれば支援を続けているという状況です。

橋 本 委 員 支援に一旦繋がっているケースはそのように継続ができませんよね。支援に繋がらないような状況で卒業する子どもいないというように考えてよろしいのでしょうか。教育研究所に来られる方は、そこからの支援があると思いますが、ひきこもってしまっていて、どなたも接触ができないようなケースはないと考えるよろしいのでしょうか。

学校教育課長 実際にある中学校で、3年間1日も学校に行けないという方でも、その養育者の方が学校に来校されて、教育相談員に相談したり、研究所に来たりという風に、何らかの形では支援していただきましたので、そのままその状況を次の相談施設などに引き継いでいると考えています。

教 育 長 補足ですが、やはり市町村の教育委員会は15歳まで、16歳からは県の教育委員会で高校等ということで、そこで断絶がありまして、例えば、高校1年生で中退してしまって、分からなくなってしまう子がいるんですね。そういうことを防止しようということで、例えば、明日、熊谷市内の7つの県立高校と市内の全中学校の校長との情報交換をやります。深谷市内、寄居町内の6つの高校ともやっています。そこでやるのは、高校1年生のうち今の時点で中退した、あるいは中退しそうな子はどんな子か、高校の校長に聞きます。その情報を基に出来るだけ声掛けをしようという形をとっています。ただ、そこまでののですが、間ですっぱり抜けてしまう子がいないようにしようという取組です。

⑥ 報告6 深谷市立中学校英語学力調査の実施について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

井 上 委 員 分かっている範囲で教えてください。生徒については、これに挑戦することはよいことだと思います。一方で、教職員ですが、英語担当の教職員の英語力というのが日本全土で低い数値が出ていますけれど、深谷市内の英語担当の教職員が英検に挑戦している現状があるのかないのが分かれば教えてください。また、素晴らしい級を持っている担当教員がいたら教えてください。

教 育 長 指導する側の教員の英検挑戦の実態、あるいは現状はどうかということについて、分かっている範囲でお願いします。

学校教育課長 委員のおっしゃるとおり、それは課題であると捉えていまして、年齢の高い教員も若い教員もチャレンジしていくような指導をしていかなければいけないなと考えています。実態については、平均よりやや低いのではないかと捉えていまして、今後取り組んでいきたいと思えます。

井 上 委 員 それは、英語教師の間で非常に問題になっていますよね。是非、挑戦するような方向性が出てくるとよいと思います。

教 育 長 明日、校長会がありますので、このような意見があったことは伝えて、少し考えていきたいと思います。

⑦ 報告7 専決処理の報告について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

生涯学習スポーツ (概要を説明)

振 興 課 長

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

⑧ 報告8 企画展「このひとをしっていますか？」について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

文化振興課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

⑨ 報告9 深谷市の史跡特別公開について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

文化振興課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

⑩ 報告10 平成27年5月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】

【非公開案件につき内容は省略】

⑪ 議案第33号 深谷市社会教育委員の委嘱について【非公開】

【非公開案件につき内容は省略】

⑫ 議案第34号 深谷市図書館協議会委員の任命について【非公開】

【非公開案件につき内容は省略】

教育長 本日の議事はすべて終了いたしました。

次回第7回定例会は、7月14日(火)午後1時30分開会です。

以上で、平成27年深谷市教育委員会第6回定例会を閉会します。